

新たなコミュニティ創生に向けて

# Community Design Center

甲南大学コミュニティ・デザイン・センター

Vol. 2



カフェ・パンセ

ギャラリー・パンセ

利用案内

2007年度活動報告



 甲南大学

コミュニティ・デザイン・センター (CDC)

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 (10号館2階)

TEL 078-435-2276 FAX 078-435-2302

URL <http://www.konan-cdc.jp>

Mail [k-cdc01@center.konan-u.ac.jp](mailto:k-cdc01@center.konan-u.ac.jp)



## 学生によるボランティア活動で 里山の再生を

2007年度  
活動報告

あいな里山公園と甲南大学キャンパスにおける環境教育ボランティア

担当者組

谷口

文章教授

地域連携による環境教育の展開

### プロジェクトの目的

本プロジェクトでは、国土交通省の国営明石海峡公園神戸地区あいな里山公園開園のために環境教育ボランティア活動によって、「あいな里山村」再生へのサポートを行なうとともに、地元の人々に文化・伝承・地域環境についてヒアリングや調査を行ない、地域連携を推進し、阪神地域への貢献を目指すことを目的としています。また、今年度は甲南大学のキャンパス内においても、地域連携をはかり、ネットワークの展開を行なうために、学生部、管財部、生協、甲南サービスセンター、対馬造園、関西明装、の6つの部署の方々にインタビューを行ないました。

### プロジェクトの進捗状況

#### ①あいな里山公園における環境ボランティア活動



あいな里山公園は、神戸市北区山田町藍那に位置し、今後の学校教育・社会教育における環境教育の実践の場となることが期待されています。

そこで、私たちは市民団体として、活動している「あいな里山ピオパーク」の活動に2005年度からボランティアとして参加しています。「あいな里山ピオパーク」は棚田の再生を行い、10年間放置された田んぼを復元し、有機農業の本来の姿である、冬期湛水や不耕起農法による「不耕起米栽培」を実践している団体です。昨年の2006年度はイノシシによる稲穂の食い荒らしによって稲の収穫ができませんでした。今年度は6月16日に田植えを行ない、その後昨年度のイノシシの被害への対策として、電柵や竹の柵を田んぼの周りに設置しました。その結果、柵の周辺にはイノシシの足跡はたくさん残っていましたが、田の内側には入ってこれず、無事に10月14日に稲刈り、11月3日に脱穀に参加することができ、今年度は約100坪の土地から約100キログラムの米を収穫することができました。

また、11月24日には「第9回あいな里山祭り」が開催され、私たちはそこで受付や炊き出しの手伝いなどを行ないました。この

あいな里山公園は、国営明石海峡公園・神戸地区の公園として、開園後の利用方法の検討や里山の技術の継承などを目的に、許可を受けた市民団体による活動が行なわれており、「あいな里山祭り」ではその様々な団体の有志が中心となり、企画され、また運営されています。また1月29日、2月13日、2月28日と崩れた田んぼの畦を直す作業や周りの草刈りなどを行ない3月も継続して活動を行ないました。この活動を通じて、子どもから年配の方まで様々な世代の人が集まって交流している場に参加したことで、同じ世代ばかりの横のつながりだけではなく、様々な世代の人と関わりあう縦のつながりを創る場の必要性を感じることができました。

#### ②あいな地域におけるヒアリング調査

あいな里山公園でボランティア活動されているNPO団体「自然と友だちになろう」代表の三宅慎也氏と、あいな地域で活動を行なっているゼミの先輩の協力を得て、あいな地域でのヒアリング調査を始めることができました。



あいなには歴史上謂れのある古道や石碑があり、長い歴史や伝統文化、稀少な動植物が生息している地域でもあります。今年度は昨年度ヒアリングした内容について、よりいっそう理解を深めることと範囲を広げることを行ないました。その取り組みとして、「あいな里山祭り」の企画である「藍那の古道歴史ハイキング」に参加し、鶴越周辺を地元住民の方と一緒に歩き専門家の方の話を聞くことで椎の木塚、相談ヶ辻など一つ一つの場所の歴史や謂れについての理解を深めました。また、竹に関することや六條八幡神社での流鏝馬神事などの調査も行ないました。

#### ③甲南大学キャンパス内での地域連携

12月19日水曜日の「哲学思想基礎論」で、〈第7回環境啓発シンポジウム〉が開催されるに当たって、その準備のため各部署でどのような取り組みをされているかを知るために、学生部、管財部、生協、甲南サービスセンター、対馬造園、関西明装、の6つの部署に谷口ゼミ生が「ゴミ・エネルギーの現状とキャンパスの環境、ゴミの処理と省エネ学生のマナーについて、各部署からの要求と学生ができること」という三点を中心に甲南大学の環境についてのインタビューを行ないました。その結果、学生のマナーの悪化やゴミ排出量などの様々な問題に対して、それぞれに解決策を考えている姿勢を感じることができました。それを各部署一つ一つの問題として、考えるのではなく、キャンパス全体の問題として考え行動することができるよう、地域が協働して問題解決に取り組める活動を今後行なっていきたいです。

